PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-188730

(43)Date of publication of application:

10.07.2001

(51)Int.CI.

G06F 13/00 G06F 3/00 G06F 17/60

(21) Application number: 11-374293

(71)Applicant: PIA CORP

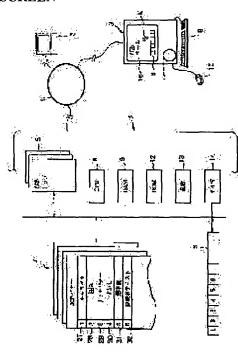
(22)Date of filing:

28.12.1999

(72)Inventor: YANAI HIROSHI

TEJIMA SHIGE KARASAWA TORU

(54) METHOD AND DEVICE FOR DISPLAYING ADVERTISEMENT ON INTERNET SCREEN



terminal 3.

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make banner advertisement naturally accepted by a user by allowing the user to feely select the display configuration of the banner advertisement.

SOLUTION: This home page 2 is provided with contents data 7 and advertisement data 5 connected with Internet 1 so as to be made open to the public. An information processing terminal 3 performs access to the home page 2 on the Internet 1, and the contents data 7 and the advertisement data 5 are simultaneously displayed on a display screen 16. Plural display patterns 40, 41, and 44 whose images and characters have different expression formats and a list chart 6 of the display patterns are preliminarily stored for the advertisement data 5 in the home page 2. The list chart 6 is displayed, and any display pattern is selected, and the expression format of the advertisement data 5 is changed so that the advertisement data can be displayed in an information processing

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開2001-188730 (P2001-188730A)

(43)公開日 平成13年7月10日(2001.7.10)

(51) Int.Cl.7	微別記号	F I		テーマコード(参考)
G06F 13/	00 354	G06F 13/0	00 354D	5B049
3/	00 656	3/0	00 656A	5B089
17/	60	15/2	'21 Z	5 E 5 O 1

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全 9 頁)

			•
(21)出願番号	特顧平11-374293	(71)出顧人	398002617
			びあ株式会社
(22)出顧日	平成11年12月28日(1999.12.28)		東京都千代田区三番町 5番地19
		(72)発明者	矢内 慶
			東京都千代田区三番町 5-19びあ株式会社
			内
		(72)発明者	手島 樹
			東京都千代田区三番町 5 - 19びあ株式会社
	•		内
		(74)代理人	100084353
		(12/14-7)	弁理士 八嶋 敬市
			万坐上 八號 似巾

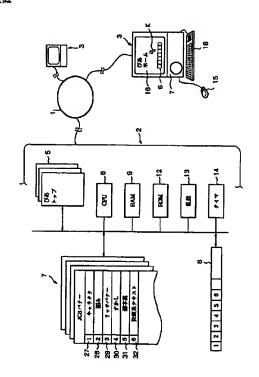
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネット画面上の広告表示方法と装置

(57)【要約】

【課題】 バナー広告の表示形態を自由に選択できるようにし、バナー広告がユーザーに自然に受け入れられるようにする。

【解決手段】 インターネット1上に接続され公開するするためのコンテンツデータ7と広告データ5とを備えたホームページ2とする。このホームページ2にインターネット1上で情報処理端末3がアクセスし、その表示画面16にコンテンツデータ7と広告データ5を同時に表示する。ホームページ2では広告データ5について、イメージと文字の表現形式が異なる複数の表示パターン40、41、44とこれら表示パターンの一覧表6とを予め記憶する。情報処理端末3では一覧表6を表示し、いずれかの表示パターンを選択して広告データ5の表現形式を変えて表示させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット上に公開するするための コンテンツデータと広告データとを備えたホームページ を、情報処理端末がインターネット上でアクセスして、 その表示画面に前記コンテンツデータと広告データを同 時に表示するインターネット画面上の広告表示方法にお いて、

前記広告データについてイメージと文字の表現形式が異なる複数の表示パターンの一覧表を表示し、その中からいずれかの表示パターンを選択して前記広告データを該当する表現形式で表示させるようにしたことを特徴とするインターネット画面上の広告表示方法。

【請求項2】 前記表示パターンを、キャラクター広告と囲み広告とリッチバナー広告とすかし広告と題字裏広告と発展系テキスト広告等から構成したことを特徴とする請求項1に記載のインターネット画面上の広告表示方法。

【請求項3】 前記表示パターンの前記キャラクター広告が著名人毎から構成したことを特徴とする請求項1に記載のインターネット画面上の広告表示方法。

【請求項4】 前記表示パターンには、音楽用とTVゲーム用とから構成したことを特徴とする請求項1に記載のインターネット画面上の広告表示方法。

【請求項5】 インターネット上に接続され公開するするためのコンテンツデータと広告データとを備えたホームページと、このホームページにインターネット上でアクセスする情報処理端末とからなり、その表示画面に前記コンテンツデータと広告データとを同時に表示するインターネット画面上の広告表示装置において、

前記ホームページでは前記広告データについてイメージ と文字の表現形式が異なる複数の表示パターンとこれら 表示パターンの一覧表とを予め記憶し、前記情報処理端 末では前記コンテンツデータと一覧表とを同時に表示 し、いずれかの表示パターンを選択して前記広告データ の表現形式を変えて表示させるようにしたことを特徴と するインターネット画面上の広告表示装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、インターネット 画面上の広告表示方法と装置に関し、詳しくは特定のホームページを閲覧中に同時に表示されるバナー広告の表示方法とその装置に関する。

[0002]

【従来の技術】従来インターネット上で著名で、名のよく知られた特定のホームページでは、より多くのパソコン等の情報端末からアクセスを期待できる。このために、広告主は競って著名なホームページにバナー広告の掲載を有料で依頼し、ユーザー(パソコン使用者)を何かのついでに自社のホームページに誘い込みたいと準備している。

【0003】バナー広告は、ユーザーが現在データ閲覧中の面積の大きい主画面に、上書きで小面積の広告画面(バナー広告)を同時に表示するものである。ユーザーがこのバナー広告を見て、クリックすると、現在のホームページから即ちに広告主のホームページに画面が移行するようになっている。著名なホームページにバナー広告を出すことで、ユーザーの目に触れる機会を多くすることで、自社の宣伝や広告を行っている。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】従来のバナー広告では、主画面に上書きで小面積の広告画面が表示されるが、ユーザーは、本来主画面を閲覧しているので、バナー広告そのものは、従画面であり、控えめなものが望まれるので、各ユーザーの好みに合うような表現形式が望ましい。しかしながら、従来では、著名でないホームページを作成する側でバナー広告の表現形式を一方的に作成していたため、時としてユーザーにとってはバナー広告が目障りに感じられる場合があった。この発明は、バナー広告の表示形態を自由に選択できるようにし、バナー広告がユーザーに自然に受け入れられるようにすることを目的とする。

[0005]

【課題を解決するための手段】この発明は、上記問題を解決するためになされたもので、第1項の発明では、インターネット上に公開するするためのコンテンツデータと広告データとを備えたホームページを、情報処理端末がインターネット上でアクセスして、その表示画面に前記コンテンツデータと広告データを同時に表示するインターネット画面上の広告表示方法において、前記広告データについてイメージと文字の表現形式が異なる複数の表示パターンの一覧表を表示し、その中からいずれかの表示パターンを選択して前記広告データを該当する表現形式で表示させるようにした。

【0006】請求項2の発明では、前記表示パターンを、キャラクター広告と囲み広告とリッチバナー広告とすかし広告と題字裏広告と発展系テキスト広告等から構成した。請求項3の発明では、前記表示パターンの前記キャラクター広告が著名人毎から構成した。請求項4の発明では、前記表示パターンには、音楽用とTVゲーム用とから構成した。

【0007】請求項5の発明では、インターネット上に接続され公開するするためのコンテンツデータと広告データとを備えたホームページと、このホームページにインターネット上でアクセスする情報処理端末とからなり、その表示画面に前記コンテンツデータと広告データとを同時に表示するインターネット画面上の広告表示装置において、前記ホームページでは前記広告データについてイメージと文字の表現形式が異なる複数の表示パターンとこれら表示パターンの一覧表とを予め記憶し、前記情報処理端末では前記コンテンツデータと一覧表とを

同時に表示し、いずれかの表示パターンを選択して前記 広告データの表現形式を変えて表示させる。

[0008]

【発明の実施の形態】以下、この発明のバナー広告の方法と装置実施の形態について説明する。図1において、インターネット1には企業体や団体や個人等多数の独立なホームページ2が接続され、情報端末のパソコン3も接続可能である。インターネット1の物理的構成は、大型コンピュータとこれが接続される公衆電話回線や専用回線や光ケーブルや無線によるものが考えられるが、ここでは便宜上公衆電話回線を使用したものとする。

【0009】ホームページ2は全体的には電子部品、光学部品等を含む電子計算機で構成されており、コンテンツデータ5と表示パターンメニュー6と広告データ7とCPU8とメモリ9と表示装置10入力装置と表示部とプログラムメモリ12と乱数発生器13等から構成されている。コンテンツデータ5は、原則的にこのホームページ2がインターネット1上公開しようとするデータで、会社案内や求人案内、決算報告、事業計画、組織構成等複数ページから構成される。

【0010】表示パターンメニュー6と広告データ7とは互いに関係するもので、この広告データ7はこのホームページ2に付随した他社からの依頼による広告である。表示パターンメニュー6はこの広告データ7の同一内容について、異なる表示形式に編集したものを識別したタイトルである。コンテンツデータ5は自社のコストで、表示パターンメニュー6と広告データ7とは依頼先の費用で予め作成し、編集して磁気記録装置に記憶されている。

【0011】次に編集された異なる表示形式の広告データ7について説明する。広告データ7は依頼先毎に複数作成されており、例えばJCBや味の素やトヨタやNTT等がある。これら各広告データ7にはキャラクター広告27と囲み広告28とリッチバナー広告29とすかし広告30と題字裏広告31と発展系テキスト広告32等がある。これらは、記憶装置内で、順番に例えば1番地にキャラクター広告27が、2番地に囲み広告28が…6番地に発展系テキスト広告32が格納される。

【0012】更に、広告データ7の表示パターンには、電子製品製造業者の場合には、音楽用とTVゲーム用とから構成したものがあり、なお更にキャラクター広告27には著名人、例えばタレントのアイドル歌手毎から構成したものとある。さて、一方インターネット1上には多数のパソコン3等が接続されるが、ここでは簡単に1台のパソコン3を例に説明する。ユーザの情報処理端末であるパソコン3は、マウス15と表示装置16と演算部17とキーボード18等を備え、マウス15の操作により表示装置16の画面内の矢印のポインタKが移動する。

【0013】ホームページ2を、情報処理端末のパソコ

ン3がインターネット1上でアクセスすると、その表示 装置16の画面にはコンテンツデータ5と表示パターン メニュー6 (広告データの前兆表示)とを同時に表示さ れる。さてホームページ2の画面は、世界中では何百万 と考えられるが、ここでは図2に示す"チケットびあ" のトップ画面を例に動作を説明する。

【0014】あるパソコン3がイベント検索のために、インターネット1上で"チケットびあ"のホームページ2に接続すると、図2のホームページ2のコンテンツデータ5とともに表示パターンメニュー6が送られてくる。その間、表示装置16には面積の大きい主画面とともに、小面積の表示パターンメニュー6(広告画面の前兆)が同時に表示されている。

【0015】一通りの希望するイベントに関するデーター収集を一区切りした時点で、ユーザーは表示装置16の所定画面上で表示パターンメニュー6に気付き、或いは意図的にマウス15により表示パターンメニュー6中のキャラクター広告27(1番)にポインタKを合わせて選択する。キャラクター広告27では、表示装置16の画面上に図3に示すような例えば、"グルメびあ"のキャラクター40が登場し、キャラクター40が画面上を点線のように動き回る。

【0016】このキャラクター40を表示装置16の画面上で、パソコン3のユーザーが、マウス15を操作して捕まえる(ポインタKを合わせるだけで)と、発言表示の噴出し45が出現する。その噴出し45では、宣伝文句"カードならJCB!"とか"キャンペーン実施中!"等のセリフが表示される。セリフは機種類も予め用意しておいて、キャラクター40をポインタKで捕まえる度に言葉が違うようにしてもよい。どのページに行っても、1回はこのキャラクター40が登場し、ポインタKを合わせてクリックすると、キャラクター広告27ではhtmlを使用しているので、広告主の詳しい情報ページやサイトに移行する。

【0017】この移行に伴い、パソコン3のインターネット1上での接続先は、"グルメびあ"のホームページ2から"カードのJCB"のホームページに変更される。または、ユーザーがマウス15により表示パターンメニュー6中の囲み広告28(2番)にポインタKを合わせて選択する。囲み広告28では図3において、画面全てが帯41により囲まれており、その帯41の中に文字広告42やアニメ等が登場する。文字広告42やアニメ等が帯41の中で矢印の方向に移動したり、動いたりして、ユーザーに興味を持たせる。

【0018】バナー広告主が同一であり、表現形式が異なるだけであるので、実質的に図3と同一内容の広告の宣伝への入口案内である。文字広告42やアニメ等には何種類かパターンを予め用意しておいて、"チケットぴあ"のどのページに移ってもある程度違う文字広告42やアニメ等を見ることができる。ここでも文字広告42

やアニメ等にポインタKを合わせてクリックすると、広告主の詳しい情報ページやサイトに飛ぶ。この移行に伴い、パソコン3のインターネット1上での接続先は、"グルメびあ"のホームページ2から"カードのJCB"のホームページに変更される。

【0019】また次に、ユーザーがマウス15により表示パターンメニュー6中のリッチバナー広告29(3番)にポインターKを合わせて選択する。リッチバナー広告29では、図5においてクイズ箱44が広告であり、通常はクリックすると、リンク先に移行する。しかし、リッチバナーではクイズ箱44にポインタKを合わせてクリックすると、ゲームやクイズが露出される。バナー広告主が同一であり、表現形式が異なるだけであるので、実質的に図3と同一内容の広告の宣伝への入口案内である。

【0020】ゲームに勝ったり、クイズに答えて正解しないと、広告主のホームページやそのサイトに移行できない。バナーをクリックさせるため、また滞留時間を長くさせるための手段となる。更に、図2において、ユーザーがマウス15により表示パターンメニュー6中のすかし広告30(4番)にポインタKを合わせて選択する。すかし広告30では、図6において現在閲覧中の"チケットびあ"のトップページを始め、各ページ全てのバック地に透かしで広告主、スポンサーのロゴを多数出す。

【0021】透かしのロゴは例えば薄い表示の7色の虹46であったりする。なおここでもバナー広告主が同一であり、表現形式が異なるだけであるので、実質的に図3と同一内容の広告の宣伝や案内である。なお更に、ユーザーがマウス15により表示パターンメニュー6中の題字裏広告31(5番)にポインターKを合わせて選択する。

【0022】題字裏広告31では、図7において、タイトルロゴ、例えば"グルメぴあ"が一定期間くるくる回って、その裏側にバナーが張ってあり、それが登場する。ここにリンクが埋め込んである、クリックすると広告主、スポンサーのホームページやそのサイトに移行する。数秒経つとまたもとに戻る。これを繰り返す、例えば口の図柄のタイトルロゴ47が画面上でゆっくり回転する。バナー広告主が同一であり、表現形式が異なるだけであるので、実質的に図3と同一内容の広告の宣伝や案内である。

【0023】なお更に次に、図2において、ユーザーがマウス15により表示パターンメニュー6中の発展系テキスト広告32(6番)にポインタKを合わせて選択する。ロゴと発展系テキスト広告32では、図8においてテキストが飾り文字49になっており、この文字が前後左右に揺れる、この動作でユーザーの興味を引く。バナー広告主が同一であり、表現形式が異なるだけであるので、実質的に図3と同一内容の広告の宣伝や案内であ

る。

【0024】ユーザーは自分の希望に合った表現形式で同一内容のバナー広告を主画面に付随した従画面として表示させることができ、パソコン使用による疲労感を無くすことができる。最後に、ユーザーがあるホームページを閲覧中に、表示パターンメニュー6の選択を例えば60秒以上も指示しないと、タイマ14がカウントアップする。

【0025】CPU8はこのカウントアップを検出し、乱数発生機器13が1から6までのいずれかを乱数的に発生する。CPU8は得られた数"3"等をメモリ9に格納し、この"3"に基づき該当する番地の表示パターンを自動的に抽選する。抽選された表示パターンが例えば、リッチバナー広告29が選択されると、CPU8は前述したリッチバナー広告29を自動的に実行する。なお、情報処理端末はパソコン3に限らず、表示装置を備えた携帯端末、iモード電話機、ゲーム装置などでもよい。

[0026]

【発明の効果】この発明によれば、ユーザーは自分の希望に合った表現形式のバナー広告を選択して表示させることができる。広告主はユーザーに押しつけるのではなく、広告に対する印象をよくしてもらえるので、宣伝効果が向上することが期待できる。著名ホームページ側では、有料で広告主からバナー広告を受注するが、ユーザーから好評を得られるので、広告依頼の増加が期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のインターネット画面上の広告表示装置の全体ブロック図である。

【図2】この発明の広告表示方法の表示メニューの画面 上の表示例である。

【図3】この発明のインターネット画面上の広告表示方法の第1の表示例である。

【図4】この発明のインターネット画面上の広告表示方法の第2の表示例である。

【図5】この発明のインターネット画面上の広告表示方法の第3の表示例である。

【図6】この発明のインターネット画面上の広告表示方法の第4の表示例である。

【図7】この発明のインターネット画面上の広告表示方法の第5の表示例である。

【図8】この発明のインターネット画面上の広告表示方法の第6の表示例である。

【符号の説明】

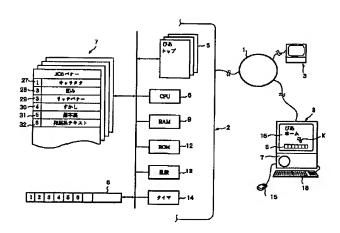
- 1 インターネット
- 2 ホームページ
- 3 パソコン
- 5 コンテンツデータ
- 6 表示パターンメニュー

!(5) 001-188730 (P2001-18JL8

- 7 広告データ
- 8 CPU
- 9 メモリ
- 12 プログラムメモリ
- 13 乱数発生器
- 14 タイマ
- 15 マウス
- 16 表示装置
- 18 キーボード
- 27 キャラクター広告
- 28 囲み広告
- 29 リッチバナー広告

- 30 すかし広告
- 31 題字裏広告
- 32 発展系テキスト広告
- 40 キャラクター
- 41 帯
- 42 文字広告
- 44 クイズ箱
- 45 噴出し
- 46 7色の虹
- 47 タイトルロゴ
- 49 飾り文字
- K ポインタ

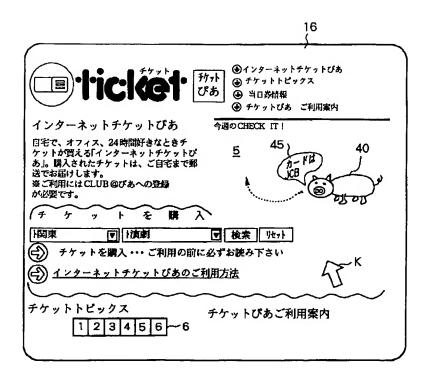
【図1】



【図2】



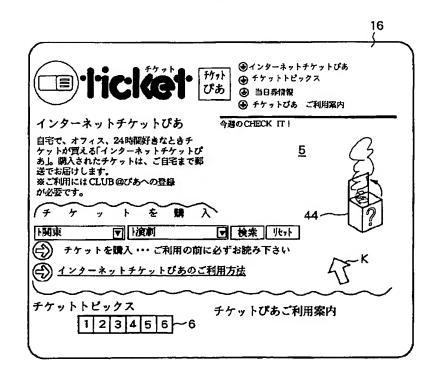
【図3】



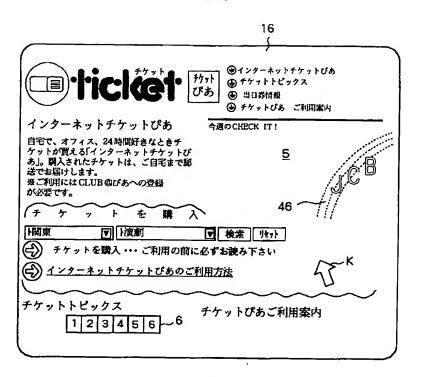
41

【図4】 42 16 JCB----- **④**インターネットチケットびあ サケット すかり 受け カーネットラケッ チケットトピックス ひあ 当日本情報 ぴあ → 当日券情報 ● チケットびあ ご利用案内 インターネットチケットぴあ 今週のCHECK IT! 自宅で、オフィス、24時間好きなときチケットが買える「インターネットチケットびあ」、購入されたチケットは、ご自宅まで郵送でお届けします。 ※ご利用にはCLUB@びあへの登録 が必要です。 ットを ▼【演劇 中関東 | 検索 | リセット チケットを購入・・・ ご利用の前に必ずお読み下さい インターネットチケットびあのご利用方法 チケットトピックス チケットぴあご利用案内 1⁴² 1 2 3 4 5 6 ----- JĊB

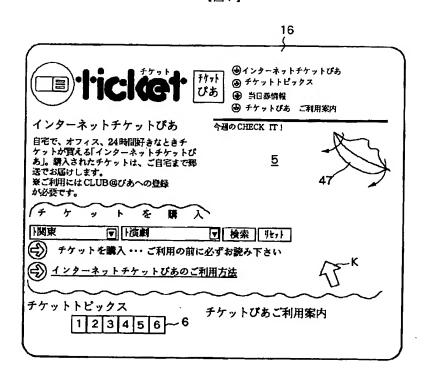
【図5】



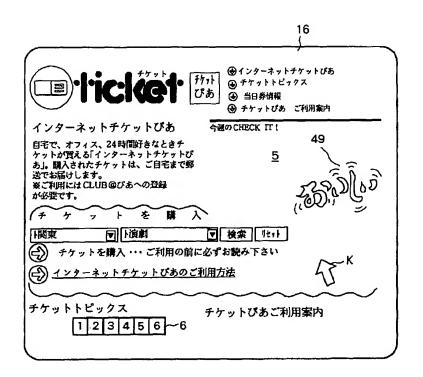
【図6】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

(72)発明者 唐沢 徹

東京都千代田区三番町5-19ぴあ株式会社

Fターム(参考) 5B049 AA01 AA02 BB49 EE07 FF03

GG02

 $5B089\ GA21\ GB03\ GB04\ HA10\ JA22$

JB22 KA18 KC22 LB14

5E501 AA02 AA13 AB15 AC06 BA12

CA02 CB09 EA05 EA10 EB05

FA13 FA14 FA15 FA41